

# 「リード」ノ相續制度廢止論

井 上 周 三

---

# 獨逸戰後ノ土地法

長 場 正 利

---

# 社 會 學 ニ 就 テ

中 村 彌 三 次

1922

# リードノ相續制度廢止論

井 上 周 三

平素法律制度ノ社會的考察ニ興味ヲ有スル井上君ガ此譯述ニ付テ、私ニ校閱ノ勞ヲ徵セラレタ。時ニ私ハ近頃來航セル一英人ノ訪問ヲ受ケ、偶然ニモ此原著ノ評判ヲ聞キ、殊更ニ興味ヲ覺エテ同君ノ需ニ從ヒ、原文ト對照シ譯文ノ正確ト明瞭ナルコトヲ確メルコトヲ得タ。譯出部分ノ選定ハ專ラ同君ノ手ニ於テ遂ゲラレタ。(遊 佐 慶 夫 識)

相續廢止論ハ必ズシモ「リード」氏ニ依テ初メテ唱ヘラレタモノデハナイ。サレド「アメリカ」ニ於ケル近世ノ著シイ富ノ集積ニ對スル反動トシテ、殊ニ其特權階級ニ對スル社會的反感トシテ、更ニ又タ世界戰爭ノ及ス財政經濟上ノ影響ノ結果トシテ、現下ノ相續制度ハ社會問題ノ論議ノ一中心トナルニ至ツタ、本稿ハ斯克ノ如キ環境ノ下ニ生レタト思ハレルHarlan Eugene Read, The Abolition of Inheritance, 1919, New York ノ梗概ヲ譯出シタモノデアル(抄譯者註)。

## I. 序 言

(原著、pp. 4-24)

千九百〇六年ニ當リテ有名ナ富豪「マーシャルフィールド」ガ死亡シタ。而シテ無慮一億二千五百萬弗ト評價セラル、巨額ナ財産ハ、當時二十歳ト十歳デアツタ二人ノ孫ノ爲ニ、未ダ管理不適當ヲ理由トシテ五十歳ニ成ルマデ被信託人ノ手ニ委ネラル、事

トナツタ俄カニ民衆ハ「ミルトン」ノ所謂「昔ノ世論ハ現在全ク誤リデアル」コトヲ覺醒シタ。此世論ト云フノハ巨大ナル財産モ直ニ相續人ノ間ニ分配セラル、カラ危險デナイト云フノデアル。我相續法ガ專政政治ト同様ニ危險極ル金權貴族主義ヲ創造スル事ガ可能デアリ、又現ニ創造シツ、アル處ノ確實性ニ就イテハ、到ル處印刷物デモ、演壇デモ、説教場デモ激シク議論サレタ。「シカゴトリビュン」其他合衆國內ノ殆ドアラユル大新聞紙ハ、何レモ詳細ニ「マーシャルフヒールド」ノ遺志ヲ載セタ。當時ノ大統領ニシテ常ニ民衆ノ思想ノ潮流ヲ理解シ、之ニ順應スルニ努メタ「ルーズベルト」ハ手ヲ束ネテ、一吞ニシタ財産相續ニ關シテ特殊ナ累進ノ稅ヲ課スル事ヲ目的トスル原理ヲ千九百〇七年ノ敎書中ニ挿入シタ。然ルニ我々合衆國人ハ此ノ點ニ就テ「スイス」「イタリー」「オーストラリヤ」「ニュージユランド」等ノ諸國ト比較シテ餘リ進歩シテキナイヲ發見シタ。實ニ斯ノ如キ發見ハ恥カシイ次第デアル。

課稅ノ方法ニ關スル我ガ憲法ノ制限ヲ受ケナガラモ、合衆國人ハ慎重ニ相續稅ノ理論ヲ研究シ初メタ。——斯クテ相續稅ヲ國家歲入ノ重要ナ部分トスル事ヲ欲シテデアル。

此ノ問題ハ合衆國ニ於ケル殆ンド全テノ州ノ重要ナ問題トナツタ。シカモ立法ノ問題トハアマリ交渉スル處ナク(當時相續法令ハ九州ヲ除ク外全テノ州ニ存在シタカラ)、寧ロ民衆ノ論議ト道德的覺醒ニ倚屬スル精神的價值ニ關係シタノデアツタ。

千九百十四年八月ニ生ジタ歐洲戰爭ノ以前ニ於テモ、民衆ハ十分ニ覺醒シテ一體ト成ツテ具體的行動ノ内ニ顯著ナ結果ヲ殘サムトシタ。千九百十七年一月一日ニ至ルマデニ四三州ガ相續稅ヲ有シタ。ソシテ最少限度ノモノトシテ七州ノ直系相續ニ課スル一「パーセント」ノ稅率カラ初マリ、最大限度ノモノトシテ「カルフォルニア」ノ直系相續ガ一「パーセント」ヨリ一五「パーセント」、傍系相續ガ三「パーセント」ヨリ三〇「パーセント」ニ及ブモノニ至ツタ。後者ハ「バンクロフト」氏ニ依ツテ殆ンド沒收ニ近キモノト稱セラレルモノデアル。千九百十七年一月一日ニハ大半ノ州ニ於テ最少額ノ直系相續稅一「パーセント」最大額三乃至四「パーセント」トナツタ。

吾々ガ此大戰爭ニ參加スルヤ相續稅ノ問題ニ與ヘラレタ刺戟ハ以前ニ増シテ強大トナツタ。

千九百十七年一月一日以後現在即チ、千九百十七年四月一日ニ至ルマデニ二三州ガ相續稅法ヲ改正シタ。ソシテ常ニ其ノ目的ハ同法ヲ一層嚴格ニスルニアツタ。殊ニ之等ノ中、九州ガ著シク稅額ヲ増加シタノデアツタ。之等九州トハ、「アルカンサス」、「コネクテカット」、「ミヅリー」、「オレゴン」、「ペンシルバニア」、「バアモンツ」、「ワシントン」、「ウイスコンシン」、「バアジニア」等デアル。千九百十八年四月一日頃、「ミシシッピー」州ニ於テ、初メテ相續稅法ガ通過シタ。故ニ、相續法令ヲ有セザル州ハ四個「アラバマ」、「フロリダ」、「ニウメキシコト」、「サウスカロリナ」ニ減ジタ。

我聯邦政府ハ千九百十年ニ二回モ稅率ヲ増加シタ。千九百十六年九月四日ノ聯邦法ハ「一パーセント」乃至十「パーセント」ノ稅率範圍ヲ定メタ。千九百十七年三月三日ニハ稅率ヲ一「パーセント」二分ノ一カラ一五「パーセント」ニ上ゲタ。同年十月三日ニハ、戰時特別稅ガ出テ、二「パーセント」カラ二五「パーセント」ニ及ブ範圍ヲ定メタ。尤モ此ノ二五「パーセント」ノ稅率ハ常ニ千萬弗以上ノ財産ニ適用サル、ノデアル。現在ニ於テハ最モ親等遠ク、且巨額ナ財産ノ傍系相續ヲナス場合ニ一〇「パーセント」以上ノ州稅ヲ課スル州ガ二一アル。又一五ノ州ニ於テハ最大額一五「パーセント」以上ニ達スル。四個ノ州ニ於テハ最大額二五「パーセント」以上デアル。即チ「アルカンサス」ガ三二「パーセント」、「カルフォルニア」ガ三〇「パーセント」、「ミズリー」ノ三〇「パーセント」、「ネバダ」二五「パーセント」デアル。其中「アルカンサス」デハ最モ遠イ親等ニソノ傍系相續ヤ血統關係ニ非ラザル者ニ殘サレタル百萬弗以上ノ財産ハ州ニ三二「パーセント」、國家ニ二五「パーセント」ノ稅ヲ出サスノデアル。「ミズリー」「カルフォルニア」ニ於テハ三十「パーセント」ヲ州ニ二五「パーセント」ヲ國家ニ納メサセル。「ネバダ」ニ於テハ二五「パーセント」ノモノヲ州ニモ國家ニモ納メサセル。然シナガラ只今揚ゲタ極端ナ稅率ハ只單ニ巨額ノ相續ト、遠イ親等ノ者ニ適用サレルニ過ギナイコトヲ記憶セネバナラス。例ヘバ「カルフォルニア」デハ寡婦、幼兒ハ州法ノ許ニ二萬四千弗、聯邦法ノ許ニ五萬弗ノ免除ヲ受クルノデアル。「カルフォルニア」ノ

税率ハ一〔パーセント〕ニ初マリ、聯邦法ハ二〔パーセント〕ニ初マル。實際此等ノモノガ併課サル、場合デモ決シア沒收的ノ結果トハナラナイ。但、傍系親族ノモノガ巨額ノ財産ヲ相續スルハ別トシテアル。

千九百十八年一月一日ノ税率表ト千九百十七年一月一日ノ税率表ヲ比較スル時ハ、相續税ニ就イテ如何ニ威大ナ跳躍の發達ガ千九百十七年ニ於テ合衆國ヲ通ジテ行ハレタカヲ知ル。千九百十七年ニ於ケル相續税ノ増加セル事實ハ、我ガ立法者ノナス財政的手段タル相續税ニ附着スル價值ガ如何ニ重要デアルカヲ示スニ足ル豊富ナ證據ヲ供スル。其上相續制度其ノモノニ對シテ、漸次文明人ノ胸臆ニ生ジ來タレル心的變化ニ就イテノ證據ヲ示ス。相續制度ノ改革ニ對スル現代人ノ態度ハ他ノ多クノ制度ノ改革ニ對スルト等シク、此大戦争ノ積極的ナ財政上ノ要求ニ依リテ人々ノ心裡ニ結晶シ來ツタノデアル。

此ノ戦争ノ維持ニ關シテ先ヅ第一ニ來タルベキ問題ハ〔幾何ノ經費ヲ要スルカ〕デアル。ソシテ之ハ米國人ノ恒久的信用ノ爲ニ是非トモ云フベキコトデアル——戦争ニ要シタ額ニ就イテハ何等ノ弱點モ何等ノ躊躇スベキ點モナイノデアル。米國人ハヨク自己ガ慎重ナルト共ニ、放恣デアリ保守的ナルト共ニ大膽デアルヲ示シタ。議會ハ今日有名ナ〔議員ノ臺所〕ト云フ言葉ヲ説明スル爲メニ〔眼ヲ閉ヂタ儘デ〕二十億弗ノ第一ノ必要ヲ議決シタ。カクテ戦争ノ維持ノ爲メニハ何等節減スル事ナク、金ヲ

授ズル意志ヲ示シタ。斯クテ戰爭初年ノ經費トシテハ實ニ百七十億弗ノ金額ガ滿タサレタ——此ノ額タルヤ千七百八十九年ヨリ千九百十六年ニ至ル合衆國政府ノ全經費ノ三分ノ二ニ等シイモノデアアル。

第二ノ問題ハ[何處ヨリ此ノ金額ガ生ズベキカ]デアアル。歐洲デモ米國デモ同様デアアルガ、此ノ如キ莫大ナ經費ヲ要スル戰爭ノ法外ナ負擔ト云フモノハ、到底無產者ノ負擔シ得ルモノデハナイ。即チ働クモノ、負擔シ能ハザル處ノモノデアアル。只不勞所得ヨリ生ズベキ性質ノモノデアアル。——而シテ極メテ理解シ易ク、且ツ童子スラソノ性質ヲ會得シ得ル不勞所得財産ノ形式ト云フモノハ相續財産デアアル。

苟シクモ相續財産税ノ増加ヲ目的トスル運動史ニ興味ヲ有スル者ハ[ブラツクムアー]及ビ[バンクロフト]、[マツクスウエスト]、[フーバン]、[バンクロフト]等ノ著作ノ中ニ有益ナ事實ヲ見出スデアラウ。[ブラツクムアー]及ビ[バンクロフト]ノ初期ノ著作ト[バンクロフト]ノ後期ノ著作トハ特ニ法律上ノ事實ニ關シテ充實シテ居ル。然シ此ノ歴史のナ且ツ法律のナ事實ト關聯シテ最も興味アルモノハ、合衆國ノ法廷ガ殆ンド絶對的ノ一致ヲ以ツテ、相續税ノ立憲的ナルコトヲ主張シタコトデアアル此等ノ法廷ノ判決ハ相續税ニ關スル數多ノ要點ニ觸レテ居ル。

之等ノ判決ガ英米法ノ根本原理ヲ基礎トスル事ハ、吾人ガ以下ノ事實ヲ含味スル時ニ容易ニ理解ガ出來ヨウ。即チ[ブラッ

クストーン<sup>1</sup>ノ法律論中ニ本來認メラレテ居ル處デアル。

之等ハ又[ジョン・スチュアート・ミル]ノ深遠ナル情操ノ中ニ、表現セラレタル國民經濟ノ立却地ヨリ見ルモ肯定スル事ガ出來ル。

實際政策ノ上カラ見ルモ相續税ハ智慧ト單純ト效果トノアラユル要求ニ應ズル。ソシテ經濟的機會ニ就イテ全テノ人ヲ搖籃ノ時カラ均等ナラシムル原理ハ、[パスカル]ヨリ[エマソン]ニ至ルマデ、哲學者ニヨツテモ道德家ニヨツテモ繰リ返シテ高調セラレテ居ル處デアルシ、又今日數百ノ純眞ナル著作家、演説家、説教者ニヨリテモ力説セラレル點デアル。

現今至ル處ノ思想家ノ間ニハ期セズシテ相續税率ノ増加、殊ニ巨額ノ財産ニ適用セラル、モノニ對シテ不斷ニ擴大セムトスル見解ガアル。トハ云フモノ、相續税ノ現在ハ合衆國政府ノ目的ガ、死者ノ財産ヨリ得ルモノヲ以ツテ歳入ノ主要部分トナスト云フ結論ヲ肯定シナイ。

本書相續制度廢止論ニ提出スル計畫ハ相續税ヲ増加シ遂ニ死者ノ遺シタ富ノ全部ヲ吸收セムトスルニアル。但、未亡人ノ嫁資金及ビ病者幼者ノ保護教育ノ爲ニ相當トスル金額ノ上ニ有スル權利ニ就イテハ例外トスル。

現在ノ戰爭ガ我ガ國民ノ資源ノ上ニ及ボス恐ルベキ消費ノ爲ニ相續制度ニ關スル論議即チ相續人ノ權利、非相續人ノ權利及コノ問題ニ關聯シテ自然ニ呼ビ起ス諸問題ハ至極時機ニ適シタモノデアル。全く差シ迫ツタ死活問題デアル。コノ戰費ハ主ト



シテ働ク者ノ手ニテ支拂ハルベキデアルカ、ソレトモ特權ノ恩惠ヲ蒙ルモノニ依ツテ支拂ハルベキデアルカハ現代ニ於ケル經濟上ノ大問題デアル。

此戰爭ノ第二年目ノ終リノ戰費ハ七百五十九億五千萬弗デアル。實ニコノ額ハ千七百八十九年ヨリ千九百九年ニ至ル合衆國ノ全收入ノ約四倍デアル。然カモ當時只其ノ二分ノ一ノミガ戰爭ト年金ニ費ヤサレタニ過ギナカツタ。若シ合衆國ガ最初ノ二年間ノ戰時費ノ八分ノ一ニ等シイ額デモ戰ニ獻ズルトスルモ（オソラク公平ナル比例以下デアラウ）、直チニ其ノ額ハ合衆國史ノ最初ノ二十年間ノ戰費ト同額トナルデアラウ。茲ニ於テ唯一ノ可能ノ結論ハ働ク者ガ支拂ヲ拒絶スル事デアル。彼等ハ轉ジテコノ負擔ヲ社會ノ剩餘價值ヲ享有スル働カザル者ニ課スルニ至ルデアラウ。

一體、産業ノ剩餘價值ヲ享有スル働カザル者トハ何人デアラウカ？ 實ニ此疑問ハ全世界ノ働ク者ガ現在尋ネテ居ルモノデアル。シカモ彼等ハ餘儀ナク之ヲ質問セザルヲ得ヌ彼目ニ陷ルノデアル。カクテ最初ニ發見セラル、モノハ相續人デアル事ハ疑ノナイ處デアル。何トナレバ相續人ニハ、勞働ニヨル權原ガナイノハ明白デアル、其上戰爭ノ經費ヲ支拂フニ足ルカラデアル。但シ經費ガ莫大ニシテ遙カニ概括的豫算ヲ超過スル場合ハ別デアル。

働ク者ガ現在ノ戰爭ノ經費ヲ納税ニヨリテ支拂フノヲ心ヨシ

トセザル點ニ就イテハ既ニ吾人ハ論及シタ。然シコレノミデハ言ヒ足リナイ。働ク者ハ現在ノ戰爭ニ對シ支拂不能ノ常態ニアルト云ツタ方ガ良イ。働ク者ノ背ニ置カルベキ負擔ニハ制限ガアル、カノ賃銀ハ漸次低下シテ辛ジテ生活シ得ル點マデニ至ルト云フ說ハ國民經濟學上明白ノ原理デアアル。一度其點ニ到着スルヤ賃銀ハソレ以下ニ降ル事ガ出來ナイ。然レニ現在ノ産業ガ拂フコトノ出來ヌモノヲ將來ノ産業ニ拂ハシムル公債ヲ發行スル様ニモナル。然シ今ハソレニモ尙制限ガ生ジテ、此度ノ戰爭ニモ其ノ制限ハ殆ンド到來シタ。先ノ内亂ノ際ノ公債ハ五十六年後ノ今ニ至ルモ全部支拂ハレテ居ナイ。剩ヘ、コノ度歐洲戰爭ニ參加シテ以來一年間ニ、既ニ内亂ニ要シタ全經費(年金ヲ含ム)以上ノモノヲ消費シタ。若シ我ガ産業ガ直ニ或ハ將來ニ於テ支拂ヒ得ナイモノトスレバ、吾々ハ轉ジテ勞力ナクシテ財産ヲ享有スル人達カラ資金ヲ得ナケレバナラス。是レヨリ外ニハ解決ノ策ハナイ。

勿論何人トイヘドモ之ニ依ツテ幾何ノ負擔ガ實務家ト勞務者カラ除去シ得ラル、カハ正確ニ知ラナイ。ケレドモ確ニ或額ヲ除去スル事ガ可能デアリ且除去スルニ至ルデアラウト云フ事ハ云フヲ待タヌ。然シ既ニコノ度ノ戰爭ハ通常ノ財産的課税ノ形式ヲ以ツテシテハ、到底利益カラモ賃銀カラモ引き出スヲ得ザル負擔ヲ生ゼシメタト云フ點ニ就イテハ、世人ノ間ニ自ラ一致スル點ガアル様ニ思ハレル。

議會が既存ノ州税ニ加ヘテ千九百十七年八月三日ニ賦課シタ高率ノ相續税(二——二五パーセント)ハ自然ト金錢相續ガ正義ナルヤ否ヤノ問題ヲ生ゼシメタ。本書ハ相續ノ特權ガ依立スルヲ得ル基礎ヲ驗討スル目的ノ爲ニ書カレタノデアル。司法卿マアシャル<sup>1</sup>曰ク「課税ノ權力ハ破壊ノ權力ナリ」ト。若シ理性カラ見テモ正義カラ見テモ、一幼兒ガ百萬弗一億弗ヲ相續スルト云フ様ナコトハ、道理ト公平ノ下ニハ權利ガナイト云フコトガ既ニ明カナル以上ハ課税ヲ手段トシテ此ノ害惡ヲ容易ニ且、迅速ニ調正シ得ルコトヲ認メラレスデアラウカ? 相續税法ヲ辯護スル爲採用セラル、議論ノ大半ハ、事實上相續ノ特權自體ニ反對スル根本的議論デアル。本書ノ書カレタ所以モ相續ノ特權自身ニ反對セムガ爲デアル。故ニ茲デ「相續制度廢止論」ハ決シテ只歲入手段トシテ相續税ヲ論ズルノデナク、又同税ノ發達過程ニ出現スル數多ノ形相ニ關シテ論ズルノデモナイコトヲ特ニ記シテオクノガ適當デアル。相續ノ原理ヲ完全ニ破壊スル事コソ本書ノ目的トシテモ論ズル處デアル。

曾テ、我ガ財産相續制度ガ世界ノ進歩ニ必要デアリ又其ノ政治組織ニ有益デアツタ事實マデモ否定スルコトハ著者ノ目的デナイ。家族ハ最初ノ自然的政治團體デアツタ、後ニヨリ大ナル團體ガ形成セラル、ニ至ルマデハ各家族團體ニ於ケル自救ノ必要ガ團體内ノ財産相續ヲ要求シタ。封建時代ニ於テ家族支配ノ大勢ハ家ノ權利ヲ維持セムガ爲長子相續ニスルマデノ相續法ヲ

必要トシタ。然シ一度民本主義ノ時代トナルヤ「家ノ權利」ノ思想ヲ除外スル必要ガ生ジタ。ソシテ漸次、出生ニヨリテ獲得スル支配權ノ範圍内ニ於テ完成シテ來タ。千七百七十六年ノ合衆國革命戰爭ト數年後ノ佛國革命ト共ニ世界ハ初メテ民本主義ニ向ツテ進行ヲ初メタ。遂ニ今ヤ其ノ原理ハ政治上ノ一形式トシテ普遍的ニ認識セラレムトシテ居ルヤウニ思ハレル。政治上進歩ト發展ノ原理トシテ、當時ハ貢獻シタモノデアル。即チ封建時代ニアタリテ社會ニ盡ス事ガ多カツタ事實ハ、現在最後ノ滅亡ノ時期ガ到來シタ事實ヲ變更スルコトナシニ認メル事ガ出來ヨウ。

然シナガラ「家ノ權利」ガ吾人ノ見聞スル政治ノ一要素トシテ、將ニ國民の政治ノ舞臺カラ最後ノ退却ヲナサムトスル場合ニ際シテ、家が自己防衛ノ必要上發展セシメタ諸法則ハ未ダ根本的ニ變更セラレズニ居ル。已ニ久シイ間文化國民ハ相續ガ特別課税ノ目的タルベキヲ認識シテキル。數多ノ經濟學者ハ傍系相續ノ原理ニ反對ヲ唱ヘタ。其ノ上或ルモノニ至ツテハ大膽至極ニモ全ユル相續上ノ特權殊ニ遺言ナキ場合ノ特權ヲ非難シタ。然シ此ノ如ク相續税ガ本質的ニ民本的ナル事實ガ、一般ノ認識スル處ナルニモ拘ハラズ、合衆國ノ同税ハ比較的少額デアル。恐ラク本問題ニ關スル近來ノ最大權威者タル「マツクスウエスト」ガ巧妙ニ道破シタ如ク「相續税ハ最適ノ民本主義ノ制度ノ様ニ思フ。地球上ノ殆ンド全テノ文明國ニ見受クルトハ云フモノ、最

モ民本的ナ國家——大英國、佛蘭西、<sup>1</sup>スイス、<sup>2</sup>カナダ、<sup>3</sup>オーストリア<sup>4</sup>植民地等——ニ於テ初メテ充實シタ發展ヲトゲルノデア  
ル。サラバ合衆國ハコノ原則ニ一大例外ヲナスノデアアル。」

既往ノ時代ニ相續制度ガ演ジタ役割ヲ十分認識シ。又<sup>5</sup>家ノ權力<sup>6</sup>ガ重要デアツタ時代ノ封建家族ノ資源ト權力ヲ理解シ、併セ  
テ一吞ニシタ財産ニ對スル現在ノ問題ニ接シテ、民本主義ノ國民ノトル態度ガ案外消極的ナルガ當然デアリ、恐ラク今日マデ  
許サルベキデアルノヲ認ムル予ハ、此ノ方面ヲ一掃スル時期ガ  
只今到着シタト信ズルノデアアル。人モ知ル如ク一世紀前ニ<sup>7</sup>アメリ  
カ<sup>8</sup>ノ脅威トナツタモノハ巨大ナル富ノ急速ナ集中デアツタ。  
之ハ多クノ特權ヲ十分ニ實現セシメタ、然カモ年毎ニ其ノ脅威  
ノ恐ルベキ増加トナリ、今日ニ至リテハ國家歳入ヲ増加スル一  
手段ノ案出ヲ強制スル世界大戰ニツレテ當分ノ主要問題ノ一ト  
ナツタノデアアル。

## II. 生産者ノ權利

(原著、pp. 12-20)

曾ツテ人類ノ自由ノ爲ニ書カレタ二個ノ最大ナル記録トハ、  
我ガ祖先等ガ大英國ニ反旗ヲ翻シタ時發表シタ<sup>9</sup>アメリカ<sup>10</sup>ノ獨立  
宣言書ト、從來ノ傳統的貴族政治ノ軌ヲ破壊シテ千七百八十九  
年八月佛國國民議會ノ起草シタ人權宣言書デアアル。獨立宣言書  
ニ於テハ人權ト云フモノハ汎ク生命ト自由ト幸福ノ追求ナリト  
定義サレタ。人權宣言書ニ於テハ佛國ノ愛國者ハ此等ノ權利ヲ

自由ト財産ト安全ト壓迫ニ對スル反抗ナリト定義シタ。人ガ其創造スル財産ヲ平穩ニ所持スルヲ得ル權利ハ、人ノ有スル獨特ノ權利ノ一ツデアル。現在全ユル文明國民ノ確立スル此ノ原理ハ當然我々ノ思想ノ根柢トシテ採用スルモ差支ナイノデアル。然シ讀者ノ中ニハハツキリト眼ニ止ツテ居ルガ別段何ノ理由モ持タナイ者モ居ルデアラウカラ次ニ極簡單ニ之ヲ述ベヨウ。

(一)財産(權)ナル言語自體ガ財産權者タル資格ヲ示スモノデアツテ、全ユル財産ハ或財産權利者ニ屬セザルベカラズト云フノハ、ホンノ明白ノ理ヲ述ベルニ過ギナイ。即チ源ニ遡ツテ手又ハ頭ヲ持ツテ創造シタ人ニ屬スルカ、又ハ其ノ全部又ハ一部ガ之ヲ創造セザル人ニ屬スルカデアル。後者ニハ權原ニ對スル何ノ名義モ存セザル以上、財産ノ創造ノ當初ニ於テ、後者ニ財産ガ屬スルノハ理由ニ乏シク、此ノ他ノ何人モ適當ナ權原ヲ缺ク一事ハ必然的ニ財産ノ生産者ノミニ權原ヲ與フルニ至ル。然ラザレバ結局他人又ハ奴隸ノ有スル權利ヲ主張スル事ニナルカラ財産權ノ最初ノ權原ハ生産者ニ屬スルトスル結論ニ到達セザルヲ得ナイノデアル。

(二)働ク者ノ權原ハ次ノ〔彼ナクシテハ財産が生ジナイデアラウ〕ト云フ事實ニ依リテ定ル。ソシテ生産ヲ廻避シ得ル生産者ノ力其モノガ、創造物ニ對スル彼ノ權利ヲ論證スル。人間ノ勞力ニ依テ創造セラレルモノデナケレバ眞ノ意味ノ財産デハナイ。森ハ人ガ木ヲ倒シテ材木ニスルマデハ木トシテ利用出來ナイ。

野ハ鋤デ耕シテ人ノ努力ニ依リテ地面カラ生産物ヲ生ザシムルマデハ人類ニハ何ノ役ニモ立タヌノデアアル。樹上ノ果實モ、地面ノ漿果モ、泉ノ水ト雖ドモ、自然ガ置イタ場所カラ欲求ヲ満たスベキ人ノ手又ハ口ニ持チ運ブ爲、努力ヲ加ヘルマデハ生命ヲ與ヘル價值ノナイモノデアアル。ソシテ生産者ニノミ生産スル權利ト生産ヲ廻避スル權利ガ屬スルノデアアルカラ、生産物ニ對スル第一次的起原の權原ガ彼ニ屬スルノハ爭ヒ難イノデアアル。

(三) 働ク者ハ何ヲ生産スルカノ選擇權ヲ有スルト云フコトハ生産物ニ對シテ彼ガ權原ヲ有スルコトノ證據デアアル。若シ此他ノ何人カガ正當ニ或生産物ヲ要求スル事ガ出來ルナラバ、必ズヤ其ノ權利ハ論理的ニ生産物ノ種類ト生産ノ時機ト生産ノ量ヲ指揮スベキ完全ナル權力、簡單ニ云ヘバ他人ノ生命ヲ絶體的ニ支配スル權利ヲ包含セネバナラス。然ルトキハ生産上ニ於テハ奴隸ト自由人トノ間ニ區別ハナクナル。人ハ其好ム所ノモノヲ生産スル自由アルモ、其ノ生産物ハ他人ニ屬スルトスルノハ明白ナル不合理デアアル。苟モ自分ノ生産物ヲ所有スル權利ヲ主張スル他人ハ其ノ好ムモノヲ自分ニ生産セシムル強制ノ權利ヲ主張セネバナラス。然ラズバ彼ノ最初ノ主張ガ、非論理的ニシテ一笑ニ附スベキモノデアアルコトハ明白デアアル。却テ自分ノ産業上ノ職業ハ自分デ選擇シ得ルカコソ、正當ナル結果ノ範圍内デハ絶體的ナ所有權者タル資格ヲ論證セネバナラス。

(四) 生産者カラ財産ヲ奪ヒ取ル爲ニ、勢力ト僞計ト才智ヲ用

フルコトハ決シテ强者ノ獨特ノ權利デハナイ。之レニ相敵對スル一層強イ勢力ガ此ノ假想的權利ヲ掠奪シ得ルト云フ事實コソ最初ノ勢力ノ使用者ノ權原ハ彼ノ固有ノ觀念ニ於ケルガ如ク其專有スベキモノデナイト云フコトヲ證明スルモノデアル。ソシテ其レニ反對ノモノハ委ク眞理タルヲ得ナイ。

財産ハ其ノ源ニ遡レバ生産者以外ノ何人カニ屬スルモノトシテ説明スルヲ得ナイ。又タ財産ハ生産者ナクシテハ存在スルコトヲ得ナイ。又タ奴隷デナイ限リハ彼ハ他人ノ命令ノ下ニ生産ヲ強制サレ得ルモノデモナイ。又タ生産者カラ其財産ヲ奪ヒ取ルニ際シテ用ヒラレタ勢力ハ正當ナ權原ヲ授クルコトモ出來ナイ。故ニ、吾人ハ人ノ有スル獨特ナ權利ノ一ツハ彼ノ創造ニ係ル財産ヲ平穩ニ所持シ得ル權利ナリトセネバナラス。大自然ノ權原ニ依レバ正シク彼ノモノデアル。何トナレバ自然ハ先ヅ彼レノ勞働ヲ勵マシ且ツコレニ報ユル爲ニ生産物ヲ生産者(勞働者)ノ手中ニ與ヘメカラデアル。顔ニ汗シテパンヲ食フベシト命ジタ神ノ直接ノ啓示ニ依リテ彼ノモノトナルノデアル。保存モ使用モ交易モ交換モ全ク彼ノ權内ニアル。全社會ニ對抗シテ彼ノモノトナルノデアル。如何ナル法ト雖モ此ノ權利ヲ廢止シ制限セムトスルモノハ人間ノ自然ノ權利ヲ侵害スルモノデアル。人ノ權利ノ眞ノ淵源ハ記錄ノ中ニ記レテ居ナイ。世界開拓以來人類ガ爭鬭シ犠牲ヲ供シタ處ノ正義ト自由ノ感ジノ中ニ存在スルノデアル。ソシテ我々ハ我々ノ胸ノ中ニ之等ノ感ジガ存在スル



事實カラシテ財産ニ對スル正當ナル根本的權原ト云フモノハ只  
財産ノ本來ノ生産者ニノミ附與セラレ得ルモノデアルコトヲ知  
ル。故ニ自分ハ本問題ヲ十分議論シ盡サナイ中ニ、已ニ人類一  
般ニ汎ク認メラレタモノトシテ論ヲ進メル。

人ハ其ノ創造スル財産ノ上ニ權利ヲ有スルコトガ爭フベカラ  
ザルモノトスレバ、次ニ我相續制度ガ此ノ權利ニ干涉スル處ナ  
キヤ否ヤヲ調ベテ見ヨウ。又未ダ搖籃ニ在ル小兒ニ相續ヲ許ス  
行爲ガ單ニ惠マレタル小兒ニ對スル親切ノ行爲ニ過ギナイモノ  
カ、ソレトモ他ノ全ユル小兒カラ計數的ニ論證シ得ル掠奪行爲  
デアルカラ調ベテ見ヨウ。更ニ一步進メテ數百萬ノ人々が生存  
線以下ニ居テ、家族ガ適當ノ生活ヲ營ムニ足ラザルモノヲ得ル  
爲ニ、餘儀ナク働イタリ、可憐ナ兒童ヲ學校ヨリ引キ離シテ、  
健康ト通常ノ慰安ニ必要ナ程度以下ノ衣食住ノ爲ニ、工場ニ勞  
役セシムル土地ニ於テ、一人ノ子供ニ一億六千萬弗ノ相續ヲ許  
スト云フ様ナコトハ、果シテ正當ナモノデアルカ不正當ナモノ  
デアルカラ驗討シヨウ。

世界ハ勞働階級ト資本階級ニ概括セラル、二階級ノ爲ス産業  
所得ノ公平ナル分配ヲ目的トスル兇暴ナ爭鬭デ動搖シテ居ル。  
シカモ勞働者ニ取ツテモ、活動スル資本家ニ取ツテモ無爲ニシ  
テ相續人ノ手中ニ歸スル數百萬弗ヨリ生ズル收入ニ干與スル事  
ガ出來ナイ。

資本家モ勞働者モ終生世界ノ富ノホンノ一部分ノ爲ニ爭鬭ヲ

續ケテ居ル。然ルニ勞働者ニモ資本家ニモ非ラザル特權享有者ハ少シモ生産的企業ニ關與スル事ナク、ヨリ多クノ配當額ヲ集中シ且將來他ノ血族關係者ニ遺ス準備ヲシテ奢侈ナ生活ヲ營ンデ居ル。

自分ハ此ノ際努力シテ諸君ニ次ノ事項ヲ示サウ。即チ世界ノ最大權力ハ過去ニ蓄積シタ富ヲ相續シタモノ、手ニアル事、生産物ノ上ニ權原ヲ有スル生産者ガ此ノモノヲ獲得スル手段ヲ缺クニ係ラズ此ノ重要ナル權力ハ代々勞力ヲ以ツテ取得セザル人人ニ遺サレテ居ル事、世界ノ一少部分ノ人々ガ金權ニ狂喜スルニ拘ハラズ、無數ノ民衆ハ不相當ノ貧苦ノ爲ニ粉碎サレテ居ル事、最後ニ此ノ恐ルベキ状態ノ救濟策ハ非常ニ簡單デアツテ、度スベカラザル靈魂ノ盲目者以外ニハ何者モ此世ヲ不幸ニシテ居ラナイコトデアル。私ハ財産ノ創造者以外ノ者ニ之ヲ遺ス制度ハ他ノ生産者ノ天賦獨特ノ權利ヲ否定スル事ニナルト云フコトヲ説明ショウ。私ハ諸君ガ人權否定ノ基礎タル要求ヲ驗討シ我ガ相續法ガヨツテ立ツ處ニハ正義又ハ仁慈ノ孰レカノ情操ガ存在シ得ルヤ否ヤヲ見ラレム事ヲ希望スル。

自分ノ努力ガ正當ナル富ノ要求ノ基礎ナルコトヲ認識スル以上ハ富ヲ世襲スル相續ノ原理ナルモノハ勢ヒ不合理ニナル。全社會ノ富ハ全社會ノ勞働者ノ生産物デアル。而シテ之ヲ生産シタル勞働ニ對シテハ是迄全然分配ヲ得ナカッタカ若シクハ甚ダシキ不權衡ナ分配ヲ得テ居ッタ人々ニ分配スルコトヲ許ス可キ

デアル。吾人ハ既ニ數理的ニ全ク相反スル二個ノ原理ヲ紹介シタ。吾人ハ同一物ニ對スル權限ヲ二様ノ人々ニ認メタ。サレド之等ノ權限ノ一ツハ讓歩セネバナラス。然ルニ事實ニ於テハ何時モ財産上ノ權限ハ財産ヲ有スル人ノ側ニハ自分ノ努力ナクトモ與ヘラレテ居ル。サレバ精確ナ報酬ノ標準ト云フモノハ勞力ヲ提供シテ權利ヲ與ヘラレル人カラハ奪ヒ去ラレナケレバナラスコトニナル。

### III. 人權ト相續制度

(原著、pp. 35-53)

我ガ相續制度ガ正義ノ上ニ建設サレテ居ルモノトセバ、(一)自分ノ子ニ財産ヲ遺ス父ハ、財産ヲ斯ノ如ク處分スル權利ヲ有スル事(二)子供ハ其ノ財産ヲ受クル權利ヲ有スル事(三)コノ權利ノ移轉ハ少シモ第三者ヲ害セザル事ガ説明サレネバナラス。(一)父ニ關シテ——(コノ場合兩親ヲ含マネバナラス。何トナレバ夫妻ガ家ノ富ノ共同創造者デアルシ、又妻ガ現在所持スル夫ノ財産上ノ權利ヲ妻ニ歸セシムルニハ遺言ガ必要デナイカラ)——財産ヲ遺ス父ノ權利ヲ正確ニ思考スルニハ、是非トモ考慮サレネバナラスノハ、其ノ財産ニ二種ノ區別ガ存スル事デアル。即チ

(1)特權ニ依ツテ獲得シタ金ヲ基礎トスル財産

(2)努力シテ獲得シタ金ヲ基礎トスル財産デアル

(1)ノ特權ヲ基礎トスル財産ニ就イテハ明カニ財産ノ建設者

ガ正義カラ見テ何モ財産上ニ權原ヲ持タナイ筈デアル。現ニ所持スルト云フ以外ニハ何ノ權原ヲモ相續人ハ與ヘラレナイシ、又富ガ法律ノ下ニ蓄積セラレ、當時適法ト稱セラレタトスルモ、後世ニ至リテ其ノ不正ガ發見サレル以上ハ、相續人ノ財産タラシメントスル意志ノ實行ヲ拒ムノハ一般社會ノ見解上正當ナモノデアラウ。(2)ノ努力シテ得タ金ヲ基礎トスル財産ニ就イテイヘバ、社會ガ財産創造者ノ權利ヲ勞働ノ完全ナル報酬トシテ認識シ且ツ其ノ平穩ナル占有ヲ保證シタ以上ハ、其ノ社會ニ於テハ之ト同ジ權利ヲ此他ノ總テノ他ニモ許ス必要ガ生ズル。ソシテ努力シテ財産ヲ獲得シナカッタ人ニ財産ヲ許スコトハ世界ノ働ク人カラ勞働ノ結果ノ一部ヲ掠奪スル事ニナルカラ、最初ハ正直ニ努力シテ得タト云フコトヲ理由トスル相續ノ是認ハ結局、將來ノ全財産ハ努力シテ之ヲ得ル者ノミニ歸スル可シト云フ強力ニシテ制壓的ナ理由ヲ生ズルモノデアル。故ニ斯クノ如キ相續ノ特權ノ辯護ナルモノハ自分ノ重ミデ倒レル許リデナ、ク之ヲ正シク考察スル時ハ、遺言ニ因ル財産處分ニ反對ノ主ナル理由トナリ終ルノデアル。

各時代ハ自己特有ノ法律ヲ創造シ且ツ既製ノ法律ヲ是認シ又ハ排斥スル權利ヲ有スルモノデアル。何トナレバ利益ヲ保護シ權利ヲ決定サル可キ者ハ生キテ居ル人々デアツテ死ンダ人々デハナイカラデアル。

或人ノ生涯ガ終リヲ告グルト共ニ彼ノ缺乏ト欲望ト權力トハ

終ル。最早防禦サルベキ權利モ充足サルベキ欲望モナイ。故ニ之以上ハ世事ニ付テハ何ノ權利モ持タス筈デアル。兩親ハ生前デサヘ二十一歳以上ノ子供ノ行爲ヲ取締リ且ツ約束スル權利ハ無イ。然ラバ如何ニシテ子供ノ全生涯ノ行爲ヲ制限スル權利ヲ有シ得ヤウゾ。彼ニシテ子供ヲ制限シテ善良ト仁慈ノ行爲ニ赴カセ得ズ又子供ヲ取締テ之ニ遺シタ財産ノ經濟的管理ヲサセ得ナイナラバ、一體如何ナル眞ノ權利ニ立脚シテカ子供ノ權利ヲ認メル爲ニ社會ヲ拘束シ得ルノカ？彼ニシテ子供ニ命令シ社會ヲ維持スル勞働ニ貢獻サセ得ナイナラバ、一體如何ナル正義ノ理論ニ立脚シテ社會ニ子供ノ衣食住ヲ要求シ得ルノカ？茲デ誤解ヲシテハナラナイ。死ンダ父ハ決シテ子供ヲ扶養シテハ居ナイ子供ハ全ク生ケル同胞市民ニ扶養サレテ居ルノデアル。父ハ努力シテ自己ノ扶養ヲ得タニ過ギナイ。然ルニ誤ツテ子供ノ扶養ヲ次ノ時代ノ者ニ命令スル法律上ノ力ヲ得タノデアル 茲ニ父ノ書イタ遺書ナルモノハ一方的ナ記録デアツテ子供ノ扶養ヲバ社會ニ命令スルモノデアルガ。子供ノ扶養ノ支拂ヲ命令スル權利ナドハ無イト云フ事ヲ明カニスルコトハ大切ナコトデアル。

死ンダ兩親ハ未ダ生レザル數百萬ノ子供ガ從ハザルベカラザル命令ヲ與ヘル。然カモ死ンダ者ト生レナイ次ノ時代ノ子供トノ間ニハ少シモ對人的接觸點ガナク。又將來モナイデアラウ。已ニ此世ニ生レ出ヅル前ニ世ヲ去ツタ人ノ子供ヲ扶養スル如何ナル債務ガコノ子供ニ對シテ存在スルデアラウカ？ 衡平法上

如何ナル原理ガ生ジテ一度去ツタ靈魂ガ未ダ創造者ノ手カラ世界ニ投入サレザル他ノ靈魂ヲ忠實ニ掣肘シ得ルモノカ？

若シ富有ナル父ガ其子供ヲ公ノ責任ニ於テ扶養スベシト宣言スル自然ノ權利ヲ有ストセバ何故貧シキ父ノ子供ニ、父ノ負債ノ償却ヲ要求出來ナイノカ？ サレド吾人ハ最後ノ場合ノ債務ハ不公平ナモノト認メテ居ル。然ラバ負債ノ相續ガ子供ニ取ツテ不公平ナルガ如ク、財産ノ相續ハ公共ニ取ツテ不公平ナルコトハ明白ナコトデハナカラウカ？

生キタ世界ト現在ノ交渉ヲ持タズ、墓場ノ彼方ニ過ギ去ツタ人々が未ダ生レザル者ヲ支配スル法則ヲ一片ノ紙ニ書イタ爲メニ之ニ從ハネバナラスト云フ様ナ一般ニ是認サレテ居ル法則位不都合ニシテ不合理ナモノハアルマイ。更ニ我々が單ニ、遺言書ニ記サレタ金ニ付テ特權ヲ創造スル規則ニ服從シテ兩親ガ其生存中ニ與ヘタカモ知レス道德的勸告ヲ無視スル權利ヲ是認スルコトナドヲ茲ニ考慮スル時ハ、此ノ不都合ハ犯罪性ヲ帶ビ、此ノ不正ハ餘リ悲慘ニシテ忍ビ難クナル。

民衆ノ政治モ民衆ニ依ル政治モ民衆ノ爲ノ政治モ、只地理的ニ、生理的ニ現在スル人々ニ依テ指導サレル時ニノミ可能ナルコトヲ得ルモノデアル。政治ハ其レノ下ニ生活スル人々ノ爲メニ存在スベキデアル。即チ政治ハ生存者ニ影響スル問題ニ關スルモノデ、從テ單ニ生存者ノミガ政治ヲ行フ自然ノ權利ヲ有スルモノデアル。死者ノ遺言ニ從ハザルベカラズト云フ主張ハ只

特權ヲ維持スル爲、傳統ト迷信ヲ呼ブ爲メノ特權階級ノ努力タルニ過ギヌ。更ニ正義ヲ熱愛シタ多クノ祖先ノ記憶ニ對スル侮辱デアル。我等ノ祖先ノ遺志ニ從ハントセバ、僅數人ノ遺志ニ從ツテハナラス。祖先全體ニ從ハネバナラス。巨額ノ財産相續ノ辯護ノ基礎ヲ祖先ノ權利ニ置ク人々ニ通有ノ愚策ハ此ノ力ヲ授ケタル或特種ノ祖先階級ノミヲ選擇シテ居ルコトデアル。彼等ハ祖先全體ヲ包括シナイノデアル。少數者ヲ選擇スルニ過ギナイ。然カモ此ノ祖先ノ大半ハ相續人デアツタ。彼等ハ智慧、科學的智識、正直、其他ノ特別ナ資格ニ於テ卓越シタ充分信任ノ價值アル人々ヲ包括スル事スラシナイノデアル。

相續人ヲ指定スル權能ハ唯、富者ニノミ與ヘラレテ居ル。多數ノ祖先ハ無視サレテ居ル。此ノ國民ヲ自由ニシ之ヲ維持スル爲メニ戰ヒ、血ヲ流シテ死ンダ幾百萬ノ祖先ハ膨大ナル相續制度ノ辯護者ニハ權威者トシテ認メラレナイノデアル。此祖先ノ神聖ハ無作法ニモ若シ今日彼等ガ生存スルトセバ人トシテソノ權利トナル可シト云フガ如クニ無視セラレテ居ル。

誤解シテハナラス。相續制度ノ特權ノ權威ヲ得ル爲メニ祖先崇拜ノ情緒ニ訴ヘルノハ非論理デアルト共ニ偽善デアル。實ハ、全テノ祖先ニ背イテ或祖先ニ訴ヘテ居ルノデアル。又タ是ハ民本主義ニ敵對スル貴族主義ノ「訴」デアル。

祖先ノ意思ニ從テ地上ノ惠ヲ分配セムトスルナラバ、祖先全體ヲ包含セヨ。吾々ハ正義ニ歸ル可キデアル。然ルトキハ萬人

ノ父ハ神自身ナル事ヲ識ルデアラウ。又タ吾々ハ全テノ祖先ヨリ出デ 中途デ吾々ノ自然ノ才能ヲ種々ニ變更シタガ吾々ノ自然ノ權利マデモ變更シテハ居ラス事ヲ知ルニ至ルデアラウ。丁度今日一家ノ富ノ大部分ヲ取得シヤウトシテ父ノ遺志ヲ破ル事ニ努力スル無遠慮ノ子供ヲ批難スルト同ジク、此ノ地上ヲ人類全體ニ與ヘテ相續財産トシタ萬物ノ神聖ナル父ノ遺志ヲ破ル事ヲ企テル人ヲ批難セネバナラス。

我ガ相續法ハ遙カニ死人ノ遺志ニ服從ヲ強ユル以上ノコトヲ行ツテ居ル。即チ死者ノ望デハ相續人ニハ金ヲ受ケサセナイト云フ場合ニテモ法律ハ相續人タル資格ニ於テ金ヲ受ケル權原アリトスル感情ヲ相續人ノ胸ニ培ツタ。斯クテ無數ノ場合ニ遺言者ノ遺志ヲ破リ不勞ニ所得シタ金ノ相續請求權ヲ無理ニ認メシムル爲ニ鐵面皮ナ努力ヲスル程ニ此階級ノ人々ハ驕傲ニナルノデアル。ソシテ屢々之等ノ場合ニ際シテ卑劣ナ考ガ不名譽ナ鬭爭ノ對象タル金ノ所有者ノ心意ノ上ニ投ゲラレルコトモアル。

若シ或過去又ハ全過去ノ時代ノ人々ガ相續ト共ニ生ズル搖籃ノ初ノ不平等ヲ許スコトニ傾イテ居ツタトシテモ、決シテ此ノ事實ハ相續ヲ解放スベキ現代ノ權利ヲ減ズルモノデナイシ、又タ減ジ得ルモノデモナイ。相續人が働カズシテ世界ノ財産管理ノ一部ヲ許サル、毎ニ必ズ生ズル他人ノ財産ノ否定ハ、相續財産ノ額ニ應ジテ他人ニ奴隸狀態ヲ強制スルコトニナル。而シテ多クノ遺言者ヤ證人ヤ公證人ナドノ署名シタ遺言書ガ嚴格ナ様



式ヲ以テ一王國ニ匹敵スル程ノ財産ヲ一小兒ノ單獨所有權ニ委ネル時ハ他面、之ニ對應スル奴隸狀態ハ、非生産者ノ此制度ニ因テ必然ニ受クル所得ノ配當カラ排除サレルノデ、生活ニ必要ナ「パンノ爲、止ムナク勞苦セネバナラヌ數千ノ人ノ心ニ扼ミ掛ル様ナ悲慘ヲ齎ラサナカツタナラバ、[ホーマー]ノ笑ニ異ナラザル反響ヲ呈スルデアラウ。

如何ナル點カラデモ觀察セヨ、金ノ權力ヲ世襲的ニ相續スルコトハ不都合トコロカ子孫全體ニ對スル犯罪デアル。相續人ノ不法ニ抗議モ出來ズ、其ノ非行ヲ規律スルコトモ出來ズ、相續人ノ行爲ノ末ヲ支配スル權利ヲ全ク奪ハレタ死者ガ尙ホ數千ノ生命ノ支配權ヲ得ル特權ノ源トシテ指示セラレテ居ル。力無キ者ニ認メラレタル權利ヨ!! 義務ヲ強制セザル人ヨリ得タル權利ヨ!! 墓場ニ眠ル者ニ依ツテ建設サレタル生ケル力ヨ!!

元來、生存者ハ死人カラ何等真正ノ權能ヲ得ナイノガ眞理デアル。故ニ相續ノ要求ナルモノハ何カ他ノ原因カラ生ゼネバナラス。之ノ事件ニハ自然ニ四ツノ有形的要素ガアル。——即チ死人、相續人、遺志ヲ表ハス遺言書及ビ是ニ承諾ヲ與フル生存者デアル。

死人ガ生存者ヲ取締ル權利ヲ有スルトスル說ハ既ニ之ヲ調べタカラ、是ヨリ相續人ノ要求ヲ攻究スルコトニシヨウ。議論ノ基礎トナル種々ノ要求ヲ考察スル前ニ先ヅ、諸君ノ注意ヲ家ノ優越性ト云フ情緒ヲ基礎トスル最モ強い威力ト相續人ノ要求ニ

向ケ度イト思フ。——即チ或一個人ノ家族ハ他ノ家族ヨリモ勝レテ居ルト云フ感ジデアル。人ガ自然ニ馬ヨリモ勝レテ居ルシ又白人ガ黑人即チ印度人ヨリモ勝レテ居ルト考ヘル様ニ、世ノ中ニハ、コソナ感ジヲ有スル者ガ多數アル。

此ノ感情ハ自己ノ祖先ヲ尊敬シ、子孫ノ成功ヲ祈ルコトニ之ヲ應用スル丈ケナラバ、其レハ價值アル感情デアルケレドモ、他家ヨリモ精神的ニ、道德的ニ優越點ニ到達セムトスル家ノ間ノ健全ナ競争ヲ自己ノ家族ヲ個我的ナ不正ナ目的ヲ達成スル手段トスル惡シキ欲望トノ間ニハ明確ナ分界線ヲ引カネバナラス丁度「アブラハム・リンカーン」ガ黑人ニ就イテ、言ツタ様ニ「彼ハ多クノ點ニ於テ自分ト平等デナイト云フ事ハ、」ド格拉斯」判事ニ同意スル。——確ニ色彩ニ於テ、恐ラクハ道德的、智識的性質ニ於テ平等デハアルマイ……。然シ、自己ノ手デ捷チ得タパンヲ他人ノ許可ナクシテ食フ權利ニ於テハ、彼ハ自分ト平等アル。又、」ド格拉斯」判事トモ平等デアリ、全テノ生存者ト平等デアル。』故ニ私ハ、或人ヲ劣等家族ノ者ナリシト信ズルト云ツテモ差支ハナイ。』即チ彼ハ自分ト社會的ニ平等デアルマイ。恐ラク精神ニ平等デハアルマイ。然シ勞働ノ全產物ノ上ニ存スル彼ノ權利ニ就イテハ、如何ナル生ケル人トモ平等ナモノデアル。故ニ、自分ハ不勞所得ノ金ヲ受クルコトニ付テハ何等ノ特權モ持タス。蓋シ、他人カラ其ノ有スル一部分ヲ掠奪スル事ニナルカラ。』

扱經濟特權ノ基礎トシテ家族ノ優越性ト云フ思想カラ移ツテ理論的外觀ヲ有スル相續人ノ要求ヲ考察シヨウ。或者ノ父ガ得タ事ヲ理由トシテ財産權ヲ要求スル人ニ對シテ私ハ次ノ返答ヲシナケレバナラス。私ノ父ガ莫大ナ金額ヲ得タト云フコトハ單ニ莫大ナ金額ヲ得タ父ヲ有スル權利ガアルト云フニ過ギナイ。我ガ金ノ上ニ有スル自然的權利ノ範圍内ニ於テハ、ソレ以上何モノモナイノデアアル。私ガ不勞ノ所得物ヲ受ケルト云フ叙述ノ中ニハ何ノ理由モ與ヘラレテ居ナイ。或人ハ其父ガ勞得シタト云フ理由デ金ニ付テ權利ヲ與ヘラレルト云フ主張ハ全クノ空虛ナモノデアアル。ホンノ叙述タルニ過ギヌモノデアツテ、理由モ議論モナイ。最モ簡單ナル命題ニ還元スレバ、Bガ金ヲ得タ故ニAガ受ケル權利ヲ有スルト云フニ等シイ。

父ガ金ヲ得タ事實ハ、只父ガ之ヲ受クル權利アル事ヲ證明スルニ過ギヌ。決シテ子供ガ何物カラ受クル權原アル事ヲ示スベキ何等ノ論證ヲ含マナイ。實際或他人ガ働イテ得タルヲ示ス程度デハ、其子供ガ之ヲ受ケル權原ハ認メラレルモノデナイト云フコトハ明確ナコトデアアル。

相續ノ特權ハ獨特ナ、自然ナ權利ニ依ツテ、子供ニ與ヘラルモノノ一ツデアルトセバ、子供ニ財産ヲ移轉スル父ノ權利ヲ許ス外ニ尙ホ幾多ノ必要ナコトガ生ズル。即チ遺言者ヲシテ強制的ニ財産ヲ處理セシムル法律ヲ通過スルノガ人類ノ義務トナルデアラウ。寡婦ノ場合ニハ我々ハ適當ニ或種ノ寡婦權ヲ認メ

ル何トナレバ寡婦ハ夫ノ共同者デアリ、彼ト共同シテ家ノ財産ヲ創造スト考ヘネバナナラスカラ。我々ハ尠クトモ彼女ガ現在所持スル夫ノ財産上ノ財産權ヲ認メネバナナラス。我々が夫ノ承諾ヲ條件トシ、或ハ條件トセズシテ或最少額ノ範圍ヲ認ムル行爲ハ、取りモナホサズ妻ノ自然的權利ノ認識デアル。之ト同ジ理論ハ幼年ニシテ無救助ノ状態ニアル子供ニモ通用出來ル。然シ我々ハ斯ノ如キ強行的規定ヲ幼兒以外ノドノ子供ニモ定メテハナラス。父ハ任意ニ子供ヲ勸當スル事ガ出來ル。之ヲ認メル以上ハ法律ハ相續人ノ獨特ナ權利ニ立脚シ、又ハ之ヨリ發スル相續ノ特權ヲ原因付ケルモノデナイト云フコトガ明白ニナル。子供ヲ勸當スル權利ヲ有スル。父ハ自分ノ好キナ人ニ財産ヲ與ヘル權利ヲモ有シ、從テ或人ノ物ヲ與ヘル權利ト云フモノハ、他人ガ之レヲ受ケル權利ヲ含ムコトニナルカモ知レナイガ、此點ハ直チニ答辯スルコトガ出來ル。

私ハ誰ニデモ好ム者ニ何デモ好ムモノヲ與ヘルト云フ權利ヲ否定スル。人ニ回想ノ贈物ヲ與ヘサセル感情ノ様ニ優シイモノハナイ。此ノ惠與者ニ對シ受クルモノ、心ハ熱シ魂ハ響ク。廣ク人類ヲ愛スル者ガ自己自身ヲ世ニ捧ゲルノハ萬物ヲ惠ム神ヲ善ク模放シタモノデアル。個人的感情ノ最モ優シイ表現ハ愛セラル、者ニ對シ愛スル者ガ努力ト思惟ニ價スル贈物ヲスル事デアル。然シ、全ユル他ノ行爲ト同ジク、此ノ點ニ於テモ理性ト正義ノ規律ガアラネバナナラス。此ノ贈物が社會團體ニ對シテ危

害ヲ及ボス時ハ人衆ハ之ヲ禁ズル權利ヲ有スル。

此ノ贈物ニ對スル行政的制限ノ合法ナル事ハ、今迄既ニ、認識セラレ、又今日モ多クノ點ニ於テ認メラレル。犯罪ヲ助成スル目的ヲ以テ犯罪人ニ金ヲ與ヘテハナラス。敵國人ニ金ヲ給與シタリ、封助シタリシテハナラス。法律上、酒ヲ買フ爲ニ、酤酤者ニ金ヲ與ヘテハナラス。又、不徳ノ目的ヲ助ケル爲、婦人ノ鐵道賃銀ヲ支拂ツテハナラス。或ル相當價額ヲ越ヘテ政治上ノ目的ノ爲ニ、金ヲ與ヘテハナラス。狂者ニ武器ヲ供シテハナラス。犯罪自殺ヲ犯ス爲使用ヲ欲スル人ニ毒ヲ賣ツテハナラス。其他數百ノ類似ノ場合ヲ舉ゲラレル。今日ハ與ヘル富ノ保有者ノ權利ノ上ニ多數ノ制限ガアル。之等ノ多數ノ制限ハ苟モ、公共ノ善ニ、害惡ノ結果ヲ齎スベキ贈物ヲナスベカラズト云フ普遍的原理ヲ中心ニ集合スル。

巨額ノ財産相續ノ場合ニ當リテハ、勞働ト勞得資本ニ及ス害惡ハ餘リ悲慘ニシテ、到底堪ヘ得ラレナイ。悲衰ト貧苦ト犯罪トハ、財産ヲ不勞取得スル相續人ノ足跡ニ忍ビ寄ル。社會ノ殘餘ノ者ガ相續シナイハ偶然ノモノデハナクテ、必要の結果デアル。低イ賃銀、高イ物價、飢ガ強ユル賣淫ハ、不勞所得ノ財産相續ノ世界ノ富ノ總計ニ對スル關係ニ比例シテ、必然的ニ増加スル。數百萬ノ財産相續ノ弊害ノ問題ハ、非常ニ恐シクテ、人ハ誰ニデモ好ム者ニ物ヲ與ヘル權利ヲ有スルト云フ單純ナ主張デ、一掃サレルベキモノデナイ。

又、遺言ニ依ツテ財産ノ贈與ヲ禁ズルコトハ必然ニ生前ノ贈與ノ禁止ヲモ包含スルモノデアルト云フ説明ヲ以テシテハ、寸豪モ此ノ状態ハ改マラナイ。此状態ハ必然的ニ眞理デハナイ。蓋シ相續ガ禁止セラレル時ハ財産ノ保有者ト勞得者ハ受領者ガ賢明ニ使用シ得ル以上ノ額ヲ生前ニ與ヘザルニ至ルカト考ヘルノガ相當デアル。然シ吾々ハ相續ノ特權ノ撤去ハ生前ノ危險ナル贈與ノ禁止ヲ必要トスルモノデアルコトヲ認ムル時ハ、前者ノ否定ヲ維持スル理論ハ後者ノ否定ヲ維持スル事ニナル。世界ハ堂々トシテ或社會的眞理ヲ認識セムトシテ居ル。ソシテ是等ノ眞理ノ中ニハ各人ハ其勞苦ノ全結果ニ對シテ自然ノ獨特ナ權利ヲ有スルト云フ根本原理ノヤウニ重大ナ經濟的意義ヲ有スルモノハナイ。獨占ニシテモ、贈與ニシテモ、此ノ原理ノ公平ナル作用ニ干涉スル特權ハ皆道德的ニハ不正デアツテ、亡ボサネバナラナイ。近來ノ法律發達ノ大勢ハ、自由無制限ナ贈與ノ原理ヲ否定シテ相續制度ノ弊害ヲ制限セムトスル企ヲ示ス様ニ思ハレル。合衆國ノ法律ハ(他ノ多クノ國ト同様ニ)長子相續ト限嗣相續トヲ禁止スル。即チ長男ノ手中ニ莫大ナ財産ヲ留ムル習慣ヲ挫クコトデアル。ソシテ最後ノ特權享有者ノ死後二十一年間以上、財産ヲ束ネテ置クコトヲ禁ズル。文明ハ大ニ之ヲ正シキ方向ニ成就サシタ。而シテ此空氣ハ今ヤ吾人ハ更ニ歩ヲ進メテ全ク相續ノ特權ヲ廢止スベシト云フ思想ニ電化シテ居ル。

例令、財産ノ世襲ト云フコトノ中ニハ他人ノ權利ニ對スル侵

害ヲ含マナイトシテモ、殊ニ與ヘル所爲ト受ケル行爲トガ同時ニ行ハレル場合デモ、常ニ受ケル權利ヲ含ムモノデナイ。マシテ二ツノ行爲ガ異ル環境ト異ル關係ノ下ニ行ハレル時ハ確ニ與ヘル權利ハ受ケル權利ヲ包含シ得ルモノデハナイ。遺言者ノ生前ニ於テハ、賢明デアツタカモ知レヌ者デモ、遺言者ノ死後ハ賢明ナラザル者トナルカモ知レナイ。(然シ、偶然ニ彼ハ當時爲スノヲ拒ンダモノデアル。)

予ハ信ズ。相續理論ノ辯護者ハ彼等ノ主張ニ係ル受ケル權利ハ與ヘル權利ノ中ニ包含セラル、事ヲ證明セネバナラス。勞力ナキ報酬ノ特權トシテ證明ヲ要スルモノヲ論ズルダケデハ充分デナイ。一體、彼等ハ他人ノ謙遜ニヨツテノミ相續ノ特權ヲ保ツテ居ルノデアル。故ニ若シ此ノ謙遜又ハ許容ガ撤去サレル時ハ、直チ、彼等ノ要求ガ認メラレル所ノ自然ノ權利ト云フモノハ跡ヲ留ムルモノデハナイ。

#### IV. 富ノ相續ト貧苦ノ相續

(原著、pp. 109-122)

習慣ニ依ツテ一層確固ニ建設サレルニ伴ヒ益々強固ニナルノハ、善惡ニ共通ノ法則デアル。恐ラク昔時ニ於テハ、左程大ナラザリシ相續ノ弊害モ、個人ノ財産ノ近代的増加ト富ノ集中ニツレテ非常ナ割合デ擴大シタ。多分其ノ危險ガ近年ニ於テ斯ノ如ク明白トナツタ社會的脅威ハ他ニナイデアラウ。之ヲ阻止スル法ガ存在スルニ係ラズ相續人ノ側ニ何ノ奉仕モナクシテ、幾

多ノ歲月ヲ經テ家財ヲ維持シ擴大スル爲、有リト有ラユル手段ガ盡サレタ。

相續人ニ移ルカノ範圍ニ就イテ明瞭ナ概念ヲ得ンガ爲ニ——生キ生キシタ心象ヲ描カンガ爲——或時代ノ總テノ財産所有者ガ悉ク同ジ日ニ死亡シ、而シテ其財産ヲ受領スル相續人ハ悉ク彼等ノ父ガ死亡スル日ニ生レタト云フ想像ヲ置カウ。——其瞬間ハ其時代ガ過ギ去ルト同時ニ新時代ガ世界ニ來ルノデアアル。

斯ノ如キ状態ノ下ニ於テハ、吾人ガ瞬間モ現行相續法ニ忍ビ能ハザルハ云フマデモナイ。此ノ害惡ハ明白スギルシ、此ノ不正ハ不都合ヲ極メルノデアツテ、特權ヲ受ケル者スラ出生ノ際ニ他人ヲ凌イテ利益ヲ受ケル様ナ卑劣ナ提議ヲ敢テシナイノデアアル。ダガ今ノ處、此ノ考ヘヲ其儘ニシテ置イテ、只、斯ノ如ク移轉シタ財ノ範圍ヲ考ヘテ見ヨウ。一體、之ハ總テ世界ノ富トナル可キモノデアアル。

斯ノ如キ世界ノ有形的ナ富ノ移轉ハ全ク悲劇ニナルデアラウ。全ユル家屋、機械、書籍、工場、在庫品、金銀塊ハ或ル少數特權者ノ手中ニ落ツルデアラウ。殘餘ノ者ハ人世ノ半ヲ餘儀ナク働キ續ケ剩ヘ、世界ノ市場ニ於テ、勞力ナクシテ特權者ニ與ヘラレタルモノ、公平ナ分配ノ爲ニ競争ヲ始メネバナラス。然モ、此ノ特權者等ハ餘裕ト、充分ナル教養ト教育トヲ以ツテ居ルノデ不平等ノ競争ニ於テ多種多様ノ利益ヲ有スル。

此ノ實體的財産ニ擬制的財産ガ加ハル時ハ、移轉サレタ權力



ノ範圍ハ考ヘル事ガ出來ナイ程大キナモノトナル。子供ハ相續スル工場ニ加ヘテ、或空地ニ他ノ競走者ガ工場ヲ建テルノヲ否定スル權利ヲ與ヘル紙片ヲ取得スル。相續スル家屋ニ加ヘテ公債ノ利子ヲ生ム紙片ヲ取得スル。又タ相續スル在庫品ニ加ヘテ一千ノ者ガ内ニ働キ十萬ノ勞働者ガ之カラ其ノ供給品ヲ買求メザルベカラザル産業ノ將來ノ利益分配權ヲ與ヘル紙片ヲ取得スル。ソシテ、此ノ紙片ハ彼ノ有スル他ノ紙片ト同ジク自己ノ關係スル産業ヲ如何ニ管理スベキカ、何人ヲ雇フベキカニ就イテ投票權ヲ有スルノデアル。

今吾々ノ述ベテ居ル惠マレタル相續人ハ勞働ガ生産シタル有體的創造物ノミナラズ、將來生産サルベキモノヲモ取得スル力ヲ受ケル。過去ノ結果ヲ私用スルニ飽キ足ラズシテ寄生蟲ノ魔手ハ將來ノ所得ヲモ當込ンデ、既ニ空虛ニナツタ子孫ノポケットニ投入レラル。

諸君ヨ、世界ノ各國民ハ幾十億ニ達スル巨大ナル國民的負債ヲ有スル事實ハ驚嘆スベキデハナイカ？ 我ガ國ノ全テノ市ト地球上ノ大半ノ市ハ償却スベキ公債ヲ發行スル。僅カ數哩ニ限ル區デサヘ、將來ノ働クモノニヨジテ何時カ何處カデ支拂ハルベキ債務ヲ負擔スル。之等ノ債務ハ只一國、一市、一區ニヨジテ支拂ハルベキ性質ノモノデハナイ。之等ノモノハ將來ノ子供全體ニ因テ、父ノ國債、市債、其他ノ公債證券ヲ相續スル惠マレタル相續人ニ支拂ハルベキ不可解ナ重荷デアル。予ハ今コノ

モノ、妥當性ヤ、コノモノ、表示スル要求ノ正義ニ就イテ説明シテ居ラナイ——只之等ノモノ、形象ニ就イテ説明スル。之等ノ負擔ハ例令忠實ニ働イテモ祖先ニハ重クテ負擔シキレナカツタ——故ニ此ノ負擔ハ來ルベキ者ノ肩ニ掛ケラレタ——然カモ其レハ公債發行ノ目的タル仕事ヲ、國又ハ市ノ爲ニシタ人々ニ支拂ハレナイデ、勞苦セザル相續人ニ支拂ハレルノデアル。

相續人ハ實際ニ於テハ財産ノ全價值ヲ「有體財産」デハナクテ、「負債ノ證明」ヲ以テ受ケルノデアル。相續人ノ富ノ大部分ガ常ニ機械、建物、衣服食物家具カラナルトハ限ラス。相續人ハ父ノ金庫ノ中カラ紙片ヲ見出ス。此ノ紙片ハ之ヲ享受セザル者カラ之ヲ勞得セザル者ニ支拂フベキ債務ヲ確保スル。相續制度ノ重大ナ危險ハ之等ノ紙片ガ世界ノ債務ノ總額ヲ表現スルモノトシテ扱フ事ガ出來、且ツ現在此ノ如ク扱ハル、事實ニ存スル。ソシテ此ノ債務總額ハ世界ノ富ノ現在高ヲ非常ニ越ヘテ居ルノデ世界ノ富ハ殆ンド無視セラレルバカリニナル。私ハ世界ノ現存財産ハ斯ノ如ク父カラ子ニ移ルノガ公正デアルト云フ者トシテ理解サレタクナイ。何トナレバ、有體財産ノ場合モ、債務ノ證據ノ場合ト同様ニ此ノ原理ハ不當デアルカラ。只、私ハ相續人ノ特權又ハ力ガ世界ノ富ノ現在高ヲ遙ニ越ヘテ、世界ノ人類ガ創造シタ富ノ現在額以上ノ貢ヲ得ル特權ヲ表ス様ニサレル方法ヲ指示セムトスルノデアル。私ハ國債、市債其他ノ公債證券ノ表示スル債務ノ證據ガ最モ容易ニ相續人ニ移ル事實ニ諸君ノ

注意ヲ引カフト思フ。其上最初ノ所持人ニ欠缺セル權利ヲ後ノ所持人ニ與ヘルコトモアル。何トナレバ後年、變造ガ發見セラレ特權ノ正體ガ暴露スル時モ、既ニ盜人ガ死ンデ罪スル事ガ出來テイ場合ニハ盜人カラ財産ヲ得タ者ニーツノ保證ヲ與ヘルカラデアル。

株券債券ノ發行モ取引ヲ簡單ニスル範圍ニ於テハ反對スベキモノデナイ、實ニ必要ニシテ望マシイモノデアル。殆ンド全テノ形式ノ取引用ノ紙片ハ商業上必然ノ結果デアル。ソシテ最初ノ取引ヲシタ時利益ヲ得タ人ト利益ヲ與ヘタ人トノ間ニ若シ發行シタモノ、價值ガ正確ニ表ハサレテ居ルナラバ何ノ異論モ生ズベキデナイ。併シ、往々ノ事例ノアル如ク、之等ガズツト將來ノ商業上ノ利益ヲ見越ス水株、昂價株カ、或ハ今ハ死セル人ノ作ツタ借財證書ヲ表ハス時ハ、其等ノ證券ハ相續セザル子供ヲシテ、其ノ父ガヤムヲ得ズシテ爲シタル不利益ナ取引ノ爲ニ血ト汗ヲ流シテ支拂ハシムルモノデアル。

相續人ハ世界ニ存在スル財産ノミナラズ、遙ニ之ヲ超越スル權力ヲ得ルト云フ事實位、明瞭ナルモノハナイ。果シテ、二十倍デアルカ百倍デアルカハ問題ノ中心點デハナイ。之ハ全く大キナ力ヲ有スルモノデアツテ、財産ニ惠マレタ者が賃銀ト生活費ニ關スル條件ヲ除ク外、産業ヲ妨ゲル事ガ出來ル位デアル。

父カラ子供ニ移ル此ノ權力コソ、相續ノ特權ノ爲ス脅威デアル、吾々ハ一時代ニ一回モ不平等ヲ破壊セズニ其擴大セル不平

等ヲ其儘ニシテ置ク。

我々ハモウ一度一時代生活シタ父ガ死スト同時ニ次ノ時代ノ子供ガ産レル例ヲ考ヘテ見ヨウ。諸君ヨ、何物モ受ケザル多衆ニ對シテ世界ノ全ユル特權ト財産ヲ受ケタル人々ノ權力ノ範圍ハ如何デアラウカ？

何等ノ反亂ヲ起サズ只、現行法ニ對シテ平和ナ服從ヲ爲ストセバ、恵マレタ者ハ如何ナル權力ヲ有スルデアラウカ？ 其ノ解答ハ即チ「世界ノ總經濟力」デアル。一時ニ全部ヲ得ズシテ、毎年其ノ一部ヲ得ル權力コソ、今日相續人ガ得ル權力デアル。吾吾ハ之ヲ會得スル時ハ豐富ナ世界ニ貧苦ガ有ル理由ヲ疑フコトハ。止メル。神ノ樂園ニハ、患雅、疾病、犯罪、姦淫、飲酒、無神論ガアル。——機械ガ奢侈品ヲ造ル處ニ兒童ガ勞働スル。——最早自殺ニ驚イテ立止マルコトハ止マル。——肺結核ト戰爭ニ驚イテ喘グコトハ止メル。——只、神ガ世界ノ富ノ二分ノ一ハ働カズシテ相續サレルナラバ、必然的ニ勞働者ハ其勞得セル他ノ二分ノ一ヲ受ケネバナラヌ者デアルト云フコトヲモ理解セズニ二分ノ一ノ二ツヲ全體トスルコトヲ理解シ得タル人類ヲ創造シテ適當トスルコトヲ怪シム。

之ハ働ク人々ノ悲劇デアル。民本政治ニ於テハ勞働ト勞得資本ハ頗ル有力ナモノデアル。投票數ノ九八「パーセント」ハ彼等ノ手中ニアル。然モ彼等ノ眼ハ閉デラレテ居ル。彼等ハ特權者ガ兩者カラ掠奪シテ居ルコトヲ知ラナイ。

全テノ過去ノ時代ノ者ガ同日ニ死ナズ、全テノ現代ノ者ガ同日ニ生レザル事實ハ、吾々ノ不當ナル相續法ノ存續ニ責任アルモノデアルト云フコトヲ茲ニ觀察シヨウ。又タ新時代ノ者ガ悉ク生レル瞬間舊時代ノ者ガ悉ク死ヌト云フ不可能ナ狀態ト、竝ニ新時代ノ者ガ全テ出產ノ瞬間ニ論理的思考ト勇敢ナ行動ヲ爲スコトトガ可能デアル狀態ヲ想像セヨ。ソシテ富メル親達ノ子供カラ貧シキ親達ノ子供ニ向ツテ、新シキ社會團體ノ少數者ガ世界ノ有體財産ノ全テト、匹敵スルモノナキ世界ノ權力ノ全テヲ受ケ他ノ多數者ガ何物ヲモ受ケザル狀態ヲ認ムル現行相續法ノ採用ヲ提議シタト假定セヨ。予ハ斷言スル、之ヲ提議スル子供ハ嘲笑セラル、カ、狂氣ト稱セラル、カ何レカーツデアル。彼等ニシテ、此ノ原理ヲ强行セヨト主張スルナラバ、疑モナク死刑ニ處セラレルデアラウ。然シ事實上、此ノ問題ハ決定ヲ求メル爲、斯ノ如キ劇的形式ヲ以ツテ眼前ニ現ハレナイデ只其ノ三十分ノ一ガ毎年現ハレルニ過ギナイ。故ニ、自然ト我ガ眼界カラ遠ケラレ理解サレナイノデアル。

今日、金權ノ重大ナルハ以前ニモ増シテ明瞭ニ認メラレムトシテ居ル。吾人ハ議會ノ立法ニヨル行政ガ年ニ一回、納稅義務者ノ財布ヲ襲フノヲ知ル。又極ク僅カナ程度ニ財務行政ガ日用ノパン、衣服、住居ノ價格ニ影響ヲ及スノヲ知ル。警察力ハ只犯罪人ヲ威嚇シテ居ル。金權ハ强者ノ心ヲモ恐怖ト失望トヲ以ツテ満タシテ居ル。政府ハ投票ト、發案ト、國民決議トヲ以テ

公民ガ何時デモ行使ヲ欲スル時ハ被選舉役人ヲ凌グ絶對ノ權利ヲ彼等ニ與ヘテ居ル。然シ、全權王ノ統制權ハ彼ガ死ンデモ之ヲ保有スル彼レノ家族カラ奪ヒ去ラレナイ。統制權ハ各時代ヲ通ジテ父カラ子ニ移ルノデアル。

相續ニ關シテ多數ノ者ガ陷入ル様ニ思ハレル根本的ナ思想上ノ錯誤ハ、相續制ノ確保ガ國民全體ニ關係スル事柄デナイト云フ觀念デアル。彼等ハ世界ノ殘餘ノ者ガ支拂フノヲ考ヘズニ只相續人が受ケル事バカリ考ヘルノデアル。

此ノ思想上ノ錯誤ハ人々ガ明瞭ニ全ユル種類ノ不勞所得ノ問題ヲ考ヘルコトヲ妨ゲル。若シ彼等ニシテ一度、注意深ク考ヘルナレバ、直ニ、全ユル財産ハ誰カニ創造セラレタモノデアルシ、又、財産ノ或モノハ勞務ナクシテ奪ハレル時ハ、丁度、其程度ダケ全テノ働ク者ノ財産ヲ減ズルモノデアルト云フコトヲ識ルデアラウ。例ヘバ、一千ノ人ガ一年間、百萬〔プッシュル〕ノ麥ヲ作ル爲メニ働キシテ其ノ二分ノ一ガ勞働ナクシテ奪ハレル時ハ、一千ノ人ハ所持ノ半分ヲ失フノデアル。又、何人カハ働カズシテ百萬弗ヲ受ケルトスル時ハ、彼ハソレヲ空氣カラモ其他何處カラモ獲得スルモノデナイ。彼ハソレヲ働イテ得タ人々ノ〔ポケット〕カツ得ルノデアル。何トレナバ、何人カハ働イテ人ノ消費スル物ヲ生産スルモノデアルカラ。

吾々ハ税金ノ形式ニ付テ感ズル政府ノ直接經費ヲ十分注意シテ調査スル。若シ稅率ガ數百弗ニ就キ十三仙以上上ゲラレテモ

一般ノ不平ノ聲ガ生ズル。政治的鬭爭場裡ハ中心カラ周圍ニ到ルマデ動搖スル。往々我々ハ盜レタノデモナク、與ヘラレタノデモナク、只下手ニ費サレタ數十萬弗ノ爲ニ國家管理者ヲ改選スル様ナ事モアル。然ルニ同日ニ一人ノ子供ガ一億六千萬弗ヲ相續シ、他ノ子供ハ二百萬弗ヲ相續シ、更ニ他ノ子供ハ百萬弗ヲ相續スル。然カモ彼等ノ理解シ得ザル漠然タル理由ノ爲ニ貧苦ト疾病ト犯罪ノ運命ニ豫定サレタ子供ヲ世ニ齎ラス數千ノ母ノ痛ム胸ノ外ニハ何處ニモ正義ノ聲ガ叫バレナイ。吾人ハ或一人ノ者ガ不勞取得スル百萬弗ハ明カニ百萬弗ノ元金ト一年六五弗利子ヲ何人カノ負擔トスルモノデアルト云フ事實ヲ看却スル様ノニ思フ、合衆國ニ於ケル此ノ不勞所得ノ重荷ハ千弗ノ元金ニ對シテ一年平均六十弗ノ利子ヲ男女子供ノ各人カラ生キル必要ノ爲、間接ニ拂ハレネバナラナイ。斯ノ如クシテ平均、五人ノ家庭ハ一年ニ三百弗ヲ特權者ノ金庫ノ中ニ納メル。然ルニ千九百十年ノ合衆國、國勢調査ハ最下級ニ位スル千四百萬ノ職工ノ一年ノ平均賃銀ハ五百二十一弗デアルト示ス。

「キリスト」ノ精神ヲ理解シ、彼ノ足跡ヲ追ハントスル諸君ハ、五百二十一弗デ生活シ得ル家族ニ取ツテ、一年三百弗ト云フノハ如何ナル意味ヲ有スルカヲ思ヘ。彼等ニ與ヘラレル此驚膽スベキ額ハ教育、慰安、職業方面ノ社會ニ取ツテ何ト云フ驚ク可キコトデアラウ。我等ハ現在ノ如キ國家ノ恐ルベキ結果ヲ豫言スルニ躊躇スル。兒童ノ一割モ正規ノ教育課程ヲ終ヘザル國。――

未ダ遊戯場ニ遊ブ可キ數百萬ノ兒童ガ工場ニ於テ其生命ヲ勞盡スル國——殘餘ノ數千ノ者ガ自己ノ周圍ノ光明ニ眼ヲ開ク前ニ、姦淫場ヤ其ノ他不淨ナ避難所ヤ獄舎ニ重イ酒ビタリナ足ヲ運ブ國。然モ、同日ニ特權者ニ因テ建設サレタ慈善的組織ト基本金トハ數百萬ヲ消費シテ、兒童ガ低イ賃銀ノ爲ニ惡化セズト云フ虛構ナ事實ヲ證明セムトスル國!!

一人ノ生産者ノ賃銀ガ六〇〔パーセント〕増加スル時ハ二千萬ノ家族ニ如何ナル光明ヲ齎ラスカヲ思ヘ!! 如何ナル衝動ガ學校敎會俱樂部其他ノ生活ト敎養ヲ充實スル全ユル道ニ與ヘラレルカヲ思ヘ!! 之ニ加ヘテ資本ト勞働ガ現ニ經驗スル壓迫カラ解放サレル時ハ、此ノ惠ミノ範圍ハ計リ難イモノトナル。

千九百十五年二月、議會ガ軍事證券ニヨル一億四千八百萬弗ノ收入ノ必要ヲ唱ヘタ時、民衆ハ殆ンド全世界戰爭ノ際ニモ係ハラズ、之ニ反對スル大會ヲ催シタ。ソシテ、一億四千八百萬弗ヲ收ムル事ハ男女老幼ヲ問ハズ、國民全體カラ平均一弗半各家庭カラ六弗ヲ要求スル事ニナルト云フコトヲ指摘シタ。然モ我々ハ九日毎ニ一國民トシテ同額ノモノヲ働カザル相續人ニ與ヘルノデアル。此ノ提出サレタ軍事費ノ四十倍ノモノガ、年々蓄財家ノ子供ノ爲ニ與ヘラレル。蓋シ、不勞ニ所得スル人々ノ有スル合衆國ノ富ノ部分ヲ資本化シタ價值ハ千億弗以上デアリ、其ノ利子ハ六億弗以上デアル。即チ男女、子供ヲ含メタ各住民ノ六十弗デアル。



或意味ニ於テハ、相續制度ハ、特權制度中ノ最モ有力ニシテ有害ナモノデアル。蓋シ、全テノ金ハ働イテ得タルト否トヲ問ハズ結局、相續ニヨツテ次ノ時代ニ移ルモノデアルカラ他ノ特權制度ガ破壊サレル時ハ、相續ノ害惡モ勢ヒ消滅セネバナラス。然シ、他ニ何ノ特權制度ガ殘ラナイトスレバ此ノ制度ハ恐ロシク有力ナモノデアル。此特權ハ他ノ特權ノ中デ輝ケルモノトシテ最高ノ位置ヲ占メテ居ル。何トナレバ其背後ニ相續人ノ爲ス奉仕モナク、奉仕ノ計畫モナク、又、奉仕ノ口實モイラナイノデアルカラ。然ルニ此制度ハ鐵面皮ニモ人ノ承諾ヲ得テモ得ナイデモ要求スル所ノモノヲ取ル、神聖ナル特權ノ近代的表現トシテ立ツテ居ル。

## V. 相續ト文明ノ弊害

(原著、pp. 135-143)

相續制度ハ文明ノ產物ノ一ツデアルカラ相續制度ニ對スル攻撃ハ、人類ノ進歩其モノニ對スル攻撃トナラス様ニ、之ヲ尊敬シ變更ヲ加ヘテハナラスト云フ議論ガ屢々相續ノ特權ヲ保護スル爲ニ行ハレル。

此ノ議論ニ關シテ、先ヅ文明トハ何ゾヤ及ビ果シテ我が相續法ハ文明ヲ進歩セシムルカ否ヤノ問題ヲ考ヘルノガ至當デアル。

「文明ニナル」ト云フ言葉ハ野蠻狀態ヲ開拓スル事ヲ意味スルトシテ定義サレテ居ル。即チ技術及ビ學問ヲ教ヘル事教育スル

事陶冶スル事デアアル。

[野蠻]<sup>1</sup>ノ意味ハ兇惡ナル事訓練ナキ事、粗野ナル事、獸的ナル事蠻的ナル事、慘酷ナル事、非人間的ナル事、猛烈ナル事憐ミナキ事、極惡ナル事トサレル。

政治ノ目的ハ國民ノ安寧デアラネバナラス。故ニ、若シ文明ガ望マシキモノデアルナラバ、政治ハ常ニ教育ヲ進歩セシメ、市民ノ最大多數ヲ陶冶スル様ナ手段ヲ用ヒネバナラス。

コレト同ジ原理ハ、教育ノミナラズ、道德ノ修養、人生ノ藝術的、美學的慰安ノ理解ニ對シテモ適用出來ル。社會ノ進歩シタ狀態ガ創造スル機會ト利益ニ、全ユル者ヲ干與セシムル様ニ最モ正シク政治ガ行ハレルニ至ツテ初メテ其國家ハ最モ文明ノ進歩セルモノト考ヘルベキデアアル。

ソレ故ニ、自然ニ文明ヲ自認シ文明ヲ熱望スル國家ニ於テハ藝術、教育、道德ノ一般普及ノ爲ニハ最モ著シク其感化ガ及ビ又兇惡、獸性、非人道ヲ減少スル所ノ立法ヲ好ム市民ヲ最モ推賞スベキ事トナル。

他方ニ於テ、或國家ニ、一市民階級ガアツテ、彼等ノ個人的、政治的、行動ガ獸性、犯罪ヲ増化シ、人權ヲ無視シ、特權ヲ維持スル爲ニ、教育及ビ機會ノ共通範圍ノ擴大ヲ妨ゲルナラバ、彼ハ文明ノ貢獻者デハナクテ、文明ノ敵、文明ノ破壊者ト考ヘルノガ相當デアラウ。

若シ、或一人ノ子供ガ一億六千萬弗ヲ相續スルナラバ、ソノ

時代ノ百萬ノ子供ハ惠マレタル子供ニ支拂ハンガ爲ニ彼等ガ享有セザル百六十弗ヲ獲得セネバナラス。何トナレバ吾人ノ知ル如ク[富]ハ空虛カラ得ル單純ナルモノデハナク、主トシテ之ヲ消費スル時代ノ創造スル實體財産ヲ表現スルモノデアルカラ。文明ニ及ボス相續財産ノ反對的ノ影響ハ非常ニ著シクテ、疑ヲ容レル餘地ガナイ。合衆國ノ兒童ノ一〇[パーセント]バカリガ小學校ヲ卒業スル。十オカラ十四オニ至ル數百千ノ兒童ハ、兩親ノ貧乏ノ爲ニ、學業ヲ棄テネバナラス。彼等ハ無慈悲ナ特權ノ手ニ依ツテ、工場、鑛山ニブチコマレル。併シ、兒童ノ瘦セタ血ハ、血管ノ中ニ呪ツテ居ル。彼等ノ勞働ノ產物ノ大部分ガ、働カザル人々ニ奪ハレル。故ニ、給料ガ不十分トナリ、數百千ノ青年男女ハ、止ムナク犯罪行爲ト不名譽ナ行爲ヲスル。

數百千ノ者ハ、年々肺病デ死ヌ。數百萬ノ者ハ必要以下ノ食物ヲ有ス。合衆國ノ全人口ノ六五[パーセント]ハ捷チ得タル物ヨリ以下ノ物ヲ受ケル。三三[パーセント]ハ捷チ得タル物ト等シキ物ヲ受ケル。二[パーセント]ハ、六五[パーセント]ノモノガ捷チ得タル物ニ相當スル物ヲ受ケル。

之等ノ恐怖狀態ヲ作ル制度ハ、文明ノ產物デハナイ。之ハ、未ダ文明ガ此恐怖ヲ根絶スルコトニ成功セザル野蠻狀態デアル中古ノ遺物デアル。之ハ、文明ヲ助ケズシテ文明ニ敵對シテ存在スル。ソシテ、富ヲ相續スル力ヲ全く破壊シ終ラザル中ハ完全ナル文明ガ存在シ得ナイ。

如何ナル國家ニ於テモ、特種ナ特權ヲ受ケ、惡シキ原理ヲ強メル人々ハ彼等ヲ圍ム文明ノ產物デハナイ。彼等ノ奢侈ハ、道德的、靈的發達ノ機會ヲ否定セラル、幾百萬ノ人間ヲ犠牲ニスル。泥溝ニ育テラレタ子供ハ、其ノ掠奪ヲ呪フ。長屋ニ住ム肺病ノ子供ハ、特權ヲ有スル怠ケ者ノ指ニ血ヲ滴ラシテ死ヌ。魂ガ死ヌマデ、引キズリ廻サレル婦人ハ勞苦セザル者ニ大半ヲ與ヘルト云フ單純ナ罪ニヨツテ、少女等ガ捷チ得タル物ヲ掠奪スル制度ニ對抗シテ已ムヲ得ズ重荷ヲ運バナケレバナラス。

過去ノ勞働ノ受益者ハ今日ノ勞働ノ強敵ニナル。又タ不正ノ選手トナリ飢餓ト道德的腐廢ノ擁護者トナル。彼等ハ、其ノ奢侈ガ勞働ト資本ノ正出ノ報酬カラ引カレタ移轉者ノ直線ノ如ク、文明ニ全ク正反對デアル。何トナレバ、國家全體ノ富ハ地球上ノ資源ニ應用サレタ勞働ト資本ニ因テ產出サレルモノデアルカラ特權ニ因テ得ラレタ全ユル富ハ必然的ニ直接、勞働ト資本カラ生ジタモノデナケレバナラス。

一般ノ人ハ、若シ、文明ト野蠻トノ主ナル相違ヲ指示スルコトヲ求メラレタ時ハ、恐ラク先ヅ教育、道德、藝術發明ヲ舉ゲルデアラウ。之等ハ、吾人ガ文明ト稱スル民族ノ勵マスモノデアリ、野蠻人ノ無視スルモノデアル。次ニ、彼ハ、全ユル市民ノ身體財産ヲ保護セムトスル政府ノ努力ヲ數ヘルデアラウ。特權ノ傾向ハ、一般民衆ノ發達ヲ不能ナラシムル條件ヲ創造スル事ニ依ツテ學問、道德、藝術ノ一般的普及ヲ挫キ妨ゲルモノデ

アルト云フコトヲ知ツタカラ、次ニハ特權ハ身體財産ノ安全ヲ強メルモノデアルカ、ソレトモ之ニ反對スルモノデアルカヲ究メヨウ。

身體ノ安全ニ關シテハ、文明ハ遂ニ特權ニ對シテ殆ンド完全ナ勝利ヲ得タ。[ローマ]ノ時代ニ於テハ、文明社會ノ大半ノ者ハ鐵鎖ニ縛ラレタ奴隸デアツタ。白人デサヘモ、他ノ白人ノ奴隸トナツタ。自由ノ前進スル今日ハ全ク鐵鎖ニ縛ラレタ奴隸ヲ絶滅シタ。他ノ異ツタ色素ヲ有スル人種ノ場合デモ然リ。吾人ハ實際上、身體ノ安全ニ對シテハ、金ノ勢力ノ唯一ノ重要ナ遺物ヲ有スルニ過ギヌ。即チ、貧乏人ガ得ルヨリモ、モット良イ相談相手ヲ法律事件ニ際シテ得ル事デアル。ソレデアルカラ、富メル者ハ、往々ニシテ、貧乏人ナラバ罪セラレル罪デモ免レル。之ハ我ガ國ノ罰金制度ト共ニ(此ノ罰金制度ハ貧乏人ヲ勞役場ニブチコムガ、富メル人ヲ解放スル)自由人ガ負債ノ爲ニ、奴隸ニサレタリ、金デ人ノ自由ヲ買ツタリスル時代ノ奴隸制度ノ中ニアラハレタ不正ノ遺物デアル。

國家ノ法官ガ告發スル者ヲ保護スル公ケノ保護者ガ生ズル事ハ、將來ノ幸福ナル時代ヲ豫言スルモノデアル。即チ法律家ハ、悉ク、今日ノ裁判官ト同ジ意味デ法廷ノ役人トナル。ソシテ、全テノ者ハ法律ノ前ニ平等デアル事ガ今日ノ理論トナツテ居ル如ク將來ハ事實トナツテ現ハレルデアラウ。

今述ベタ例外ハアルガ、身體ノ安全ハ事實上、到達シタ然シ、

財産ノ安全ニ關シテハ、特權ノ影響ガ非常ニ大キイノデ、未ダ、我々ハ、奴隸狀態ニ居ル。今ヤ、文明ハ之ヲ破壊セムトシテ、猛烈ナ爭鬭ニ從事シテ居ル。

奴隸狀態カラ、近來ノ特種ナ特權ニ至ル過程ニ於テ、他人ノ勞力ヲ私有スル事實ハ、殆ド舊來ノ如ク殘ツテ居ル只形式ノミガ變化シタ。

私用ノ形式ニ於ケル此變化ハ人類ノ自由ノ進行途上ノ必然的一段階デアルガ、折々原因ト結果ヲ暗クシテ、人良シノ民衆ヲシテ勝利ヲ得タト信ゼサセル。併シナガラ、相續制度ト獨占制度ハ奴隸制度ト同ジ様ニ容易ニ、勞動ノ私用ヲ行ツタモノダ。最早、労働者ノ身體ヲ監督スル必要ハ無クナツタ、又タ彼ノ勞苦ノ結果ヲ差押ヘタリ、彼ニ衣食ヲ給スル手數ト費用モイラナクナツタ。特權階級ノ者ハ巨額ノ相續ト獨占ノ利益ニヨツテ、合理的ナ資本ト労働ガ機會ヲ得ル以前ニ、世界ノ產物ト權力ノ過當ノ分前ヲ握ルノデアル。特權制度ハ常ニ相續制度ヤ、膨脹株ヤ、遺産、水資、地代等ヲ取ル自然的資源ノ獨專ノ形式ニ於テ資本ト労働トガ得ル前ニ供給ヲ受ケル地位ニ立ツテ居ル。特權制度ナルモノハ多種多様ノ近代的變裝ヲ以テ、奴隸ガ危險、非科學的、不經濟デアツタ時代ト對應シテ、文明ノ上ニ掠奪ノ形式ヲ置イタモノデアル。

他人ガ創造スル物ヲ私有スル相續人ノ權力ヲ全然破壊セネバナラヌ。然ル後、文明ハ財産權ノ強敵カラ解放サレタコトヲ誇

ル事が出來ル。他人ノ財産權ノ強敵ハ、力ニ報ユル事ナクシテ他人ノ創造物ヲ消費スル人デアル

勞苦セザル人が財産ヲ所持スル中ニ、習慣が我々ノ眼ヲ暗クシテ弊害ヲ視ルヲ得セシメナイ制度ニヨツテ、反逆者ノ人格ハ掩ハレテシマウ。歴史ハ此ノ掠奪ノ形式ニ法律上ノ認可ヲ與ヘタ。丁度過去ニ於テ、強奪ト奴隷ニ認可ヲ與ヘタト同ジデアル。此ノ相續セザル者ノ間ニ於テ、貧乏ノ二大原因ノ一タル財産相續ノ重要ナル事ハ、多クノ賢人ト注意深イ人カラ匿クサレテ居ル。然モ、幼兒ニ其レガ示サレテ居ル。何故ニ、非相續者ハ一人ノ子供トシテ、自分ガ永久ニ拒マレタ物ノ中カラ不勞取得ノ數百萬ノ豫期ヲ其子ノ友達ニ與ヘタ搖籃ノ不平等ニ對シテ抗議ヲシナイノカ!! 一體、如何ナル[アメリカ]人ノ兒童ガ且ツテ、[マーク]、[トエイン]ノ[貴族ト貧民]ヲバ熱情ト燃ユル心ナクシテ讀ンダデアラウカ?

若シ文明ガ民衆ノ教育ト進歩デアルナラバ、政治ガ市民ノ捷チ得タル財産ヲ保護シテ進歩ニ用フルヲ得ルマデハ文明ハ、決シテ到達シナイデアラウ。數十億弗ノ價アル財産ヲ使用スル權力ガ之ヲ勞得セザル相續人ニ毎年讓與サレル間ハ、之ヲ勞得スル者ノ財産ヲ保護スル政治ハ失敗スル。ソシテ、之等ノ者ノ勞働カラ怠ケ者ノ生活費ガ差引カレルノデアル。

文明ハ、我ガ相續法ニ依ツテ進歩シナイノデ之ガ撤廢ヲ要求スル。相續人ハ進歩ノ友ニ非ズシテ敵デアル。資本ト勞働トノ

寄生蟲デアル。又タ民本政治ニ對スル障害デアリ、平等ニ對スル害敵デアリ、手ト頭デ勞苦スル全テノ人ノ財産權ニ對スル打ち勝チ難キ邪魔物デアル。彼ハ文明ノ結果ニ非ズシテ文明ニ敵對スル。ソシテ全人類ノ教育的、藝術的、精神的、發達ヲ餌食トスルモノデアル。

